

日本の原風景を描いた作品展、伊勢佐木町本店で7年ぶりの開催
3月9日(土)～25日(月) 内田正泰『はり絵の世界』出版記念展
原画やピエゾグラフィの展示販売のほか、はり絵体験コーナーも展開

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）は、3月9日(土)～3月25日(月)の期間、伊勢佐木町本店6Fイベントスペースにて、内田正泰『はり絵の世界』出版記念展を開催いたします。内田正泰氏は、色紙（洋紙）をちぎって貼り重ねていく独自の技法で「日本の原風景」をテーマとした作品を数多く発表し、2019年9月に97歳で永眠されるまでに、弊社本店では作品展を多数開催し、その作品をご紹介してまいりました。このたびの開催は、2023年12月に発売された画文集 内田正泰『はり絵の世界』（日貿出版社発行）の出版を記念し、2017年1月の開催以来、7年ぶりの作品展となります。

■ 開催概要

1. タイトル：内田正泰『はり絵の世界』出版記念展
2. 期間：2024年3月9日(土)～3月25日(月)
※3月14日は休止
3. 時間：11:00～18:00（入場無料）
4. 場所：有隣堂伊勢佐木町本店 6階イベントスペース
横浜市中区伊勢佐木町 1-4-1
5. 内容：原画・ピエゾグラフィの作品展示販売、
画文集、グッズの販売
内田正泰氏愛用品の展示
はり絵体験コーナー
6. 詳細ページ：<https://www.yurindo.co.jp/honten/8416>

■ 内田正泰（うちだまさやす）略歴

1922年 神奈川県横須賀市生まれ。1943年 横浜高等工業学校（現 横浜国立大学）建築科卒業。色紙（洋紙）をちぎって貼り重ねていく独自の技法で「日本の原風景」をテーマとした作品を数多く発表。鮮やかな色彩と大胆な構図によって描かれた詩情豊かな風景は、見る者に深い懐郷の情を抱かせる。2019年9月12日に永眠。（享年97歳）

オフィシャルサイト：<http://uchidamasayasu.com/>

■ 内容詳細

（1）内田正泰氏の作品展示販売

原画（B3～B5サイズ）を厳選して展示販売するほか、シルクスクリーンプリント、作品の質感も再現する高精細のデジタル版画ピエゾグラフィをご覧ください。



(2) 画文集、グッズの販売

・画文集 内田正泰『はり絵の世界』日易出版社発行 / 3,520 円 (税込)

四季折々の美しい日本の情景を、そのやさしいまなざしでとらえた内田正泰の最新はり絵画文集。

春夏秋冬の日本の風景とそこに生きる人々の姿を、独自の手法で表現した作品とともに、はり絵制作の発想につながるスケッチや水彩画、作品づくりのコツ、制作のプロセス、はり絵にいたる道のりなどを、残された貴重な記録をもとに解説しました。本書は好評の「こころの詩」「光と風の詩」に次ぐ待望の第3集です。

オフィシャルサイト：<https://uchidamasayasu.com/books.html>

・グッズ

約 120 種のポストカード、クリアファイルや一筆箋など、内田正泰氏の作品図案をモチーフにしたグッズをご用意しました。心癒される風景画は、ご自宅に飾ったり、気軽なプレゼントとしても喜ばれるアイテムです。

(3) 内田正泰氏の愛用品を展示

内田正泰氏が、はり絵を制作する際に愛用していた道具など、貴重な品々を特別展示いたします。

(4) はり絵体験コーナー

花など簡単な図案で、はり絵の制作を体験できます。期間中、毎日開催。実施時間は店舗へご確認ください。

■ 有隣堂伊勢佐木町本店におけるこれまでの主な作品展開催実績

有隣堂伊勢佐木町本店では、2003 年に初めて同店ギャラリー（現在は閉鎖）にて作品展を開催して以来、2017 年まで数多くの作品展を実施しました。内田正泰氏本人にも足をお運びいただき、ファンとの交流を楽しみました。



2017年「日本の原風景を描く 内田正泰 はり絵展」の様子



2015年「光と風の詩」展の様子

2017年1月 日本の原風景を描く 内田正泰 はり絵展 - 色が生まれるとき -

2015年7月 はり絵で描く日本の原風景 内田正泰「光と風の誌」展
内田正泰 画文集『光と風の詩 - 季節の彩り』刊行記念

2014年7月 はり絵で描く日本の原風景 内田正泰「こころの誌」展
内田正泰 画文集『光と風の詩 - 季節の彩り』刊行記念

ほか多数